

2023年度

ニチキッズ八戸ゆりの木保育園 自己評価総括表

地域社会における保育施設として、その運営や保育内容について、自らの保育実践を振り返り、自己評価を行いましたので、その結果を以下の通り公表いたします。

また、本自己評価の結果を踏まえ、今後も更なる専門性の向上や保育実践の改善に努め、より一層質の高い保育の実践を目指してまいります。

評価方法		
保育士等（全職員）の自己評価	評価期間	2024年1月18日（木）～1月29日（月）
	実施方法	全職員に自己評価について趣旨を説明し自己評価を実施した。
保育施設の評価	評価日	2024年2月5日（月）
	実施方法	話し合いにより職場全体で共有し、保育施設の課題を明確化し、改善策を検討した。

項目ごとの評価	
保育理念	「おもいっきり遊ぶ」「おもいっきり学ぶ」の保育理念を常に意識し、保育内容をもっと充実させるにはどうすればよいかを全職員で話し合い、指導計画を立案し日々の保育を行った。
子どもの発達援助	今年度は0歳児の在籍が多いことから活動において低月齢児に合わせた内容になる傾向があったものの「絵本で遊ぼう」を園の年間テーマとして取り組み、月齢にあった与え方や、成長に合わせた与え方を考慮して保育に取り入れたことによって絵本に親しむことなど発達の援助をすることができた。
保護者に対する支援	保護者一人一人の対応を丁寧に行った。子どもの受け入れ前に連絡帳で前日の様子を把握して、受け入れ時の会話へつなげるように努めた。丁寧な対応と言葉遣いに努めることができた。
保育を支える組織的基盤	園内研修を多く持ち、様々なことに共通認識をもって保育に取り組むことができた。園日誌や報告書等を確認する習慣が定着し職員間の伝達や共有が徹底されるようになった。 不明な点は曖昧な状態にしないように努め職員間のコミュニケーションを大切にしたい。

総評
<p>保育理念や保育方針を再確認し、子ども一人一人の発達の実態を把握し、保育内容を考慮し保育を行うことができたと思う。特に今年度は「絵本で遊ぼう」をテーマに保育に取り組んだ事により子どもの発達を目の当たりにすることができ、保育士にとっても充実した保育展開となった。次年度も継続して子どもの自主性を育む保育を実践していきたい。</p> <p>次年度の課題は、事故トラウマを未然に防止するためにも保育環境を整備し、常に保育室の整理整頓を心がけていき、保育環境の見直しについて取り組んでいきたい。</p> <p>保護者対応は、丁寧に行われているため、引き続き保護者の気持ちに寄り添った対応を行うことを意識して取り組んでいく。</p> <p>全体的な報連相は、一人一人が確認する習慣がついたことによって徹底されていた。</p> <p>これからも職員間のコミュニケーションに努め、計画したことに余裕をもって取り組めるようにしていきたい。</p>